



本庁舎免震工事が完了し、元の場所に「平和の灯」が点りました。

子育て

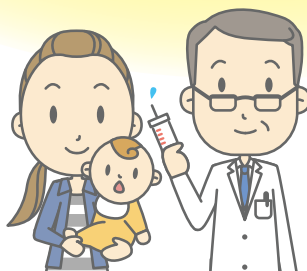
薬王寺に私立認可保育園

かつて区立薬王寺保育園のあった場所に私立認可保育所を整備。
開設は2018年4月。
1才~5才児各15名。
0才児枠なし。



赤ちゃんのB型肝炎 予防接種に公費助成

費用の半額を区が助成。保護者は1回2,600円の負担となります。助成開始は2月から。



みんなの願い 一歩前進

2015年 第4回定例会で成立した
補正予算等で実現します。

介護

軽費老人ホーム2所

都市型軽費老人ホームが今年区内に2カ所オープンします。場所は下落合(8月)と中落合(10月)で、定員は各20名。



グループホームも整備

旧大久保特別出張所跡地に認知症グループホーム(15人以上)。オープンは2018年6月。

各議員は、定例の法律・くらしの相談会を行っています。お気軽にお問合せください。



雨宮たけひこ

左門町12 ライジングプラザ5A
電話 090-1544-5088



沢田 あゆみ

西早稲田2-19-1 共美ビル101
電話 090-3088-9591



あざみ 民栄

市谷砂土原町3-18
電話 090-1802-4520



川村のりあき

西落合1-32-18
電話 090-9330-9004



佐藤 佳一

北新宿1-6-16-602
電話 090-2641-8431



あべ 早苗

新宿7-16-13
電話 090-4015-8151



近藤 なつ子

戸山1-16-16-310
電話 090-4849-3227



田中のりひで

上落合1-1-15 落合パークファミリア302
電話 080-5483-5516

代表質問



新宿区第三次実行計画 (素案)等について

問 学童クラブの新設やオーバー館の解消、4年生以上の待機児童の解消、学童機能付き放課後子どもひろばの名称変更についてどう考えるか。

答 学童クラブの新設やオーバー館、4年生以上の待機児童の解消も含め、地域で子どもが育つ場の整備・充実に努める。学童機能付き放課後子どもひろばについては、より適切な名称がないか、今後検討する。

マイナンバー制度について

問 国民の多くが情報漏えい等に不安を持っており、マイナンバー制度は実施を中止すべき。少なくとも1月からの運用はやめるべき。

答 マイナンバー制度は、重要な社会基盤と認識している。国に対して、情報漏えいや不正利用など制度の安全性や信頼性に係る国民の不安を払拭するための安全対策を講じるとともに、国民への正確な情報提供など積極的かつ適切な措置を講じるよう、引き続き求めていく。



介護保険について

問 介護認定申請の権利を保障し、4月から新たに実施する「介護予防・生活支援サービス」は、新規利用者に確実に提供すべき。サービス支給限度額の判断はどのような基準でおこなうのか。

答 本人が介護保険サービスを希望すれば介護認定の申請を受け付けるので、認定を受ける権利と必要なサービスを受ける権利は保障される。新たな事業はこれまでと同様に新規利用者を含め、必要なサービスを提供する。サービス支給限度額の判断は、本人の身体機能や生活環境等も含め、従来の要支援認定に準じて、総合的に行う。

問 第三次実行計画に新たな特別養護老人ホーム増設計画を具体化すべき。

答 公有地の活用を中心に、これまで区内に8所、615床整備した。引き続き公有地の活用を中心に整備する。

子育て支援について

問 2017年度末に待機児童をゼロにするには、あとか名の定員拡大が必要か。現在の計画で不足するなら計画を修正して整備すべき。2018年4月開設予定の旧区立薬王寺保育園の跡施設は区立保育園とすべき。

答 新年度入園の申込状況や地域の乳幼児人口の推移、マンション等の開発状況を分析しながら、必要に応じて子ども・子育て支援事業計画の見直しを行い、機動的に取り組む。区は私立保育園の保育の質を確実に担保するため、公募プロポーザル方式による事業選定を実施し、保護者が安心して選択できる保育環境を整備する。



問 区立幼稚園の預かり保育を再来年度から全園で実施せよ。

答 4園での預かり保育の利用状況等を検証した上で、2018年度以降の区立幼稚園での預かり保育実施体制の検討を進める。

学校選択制と教員の事務負担軽減について

問 学校選択制度の検証を行う会議体とその後の計画はどう考えているか。

答 学識経験者、町会代表、未就学児保護者、校長代表などを委員とする会議体を来年度に立ち上げる。検証結果に基づく新たな就学制度の実施は、2018年度から。

問 教員の事務負担軽減のため給食費を公会計化すべき。

答 収納管理システムの構築など公会計化するためには多くの課題があり、当面予定はない。現在、一部の小学校には、給食会計専門の臨時職員を配置しているが、今後も事務負担を軽減できる方法を検討していく。

一般質問



高齢者の住宅確保策について

問 区は、第三次実行計画で高齢者の住まい確保のためとして、住み替え相談や保証料助成等の目標を掲げているが、これを達成するには何らかの改善策が必要だ。

答 住み替え相談で契約に至った件数は27件であり、今後は協力店を増やして相談者のニーズに応えられるあつせんに取り組む。保証料助成は協定会社を増やすとともに手続きを簡素化して目標を達成する。



夏目坂通りの拡幅事業について

問 東京都が夏目坂通りを環状4号線として拡幅する旨の説明会を行ったが、夏目坂通りは区道であり、改めて都区共催で説明会を行うべき。

答 都が都市計画道路整備の事業主体なので責任を持って説明する。都区共催の説明会は開催しない。

問 区は夏目坂通りが環状4号線になっ

問 シルバーピアの区営住宅を増やすことが高齢者の住宅ニーズに最も合致している。

答 区営住宅戸数は23区でも多い方であり、戸数を増やすことは考えていないし、区営住宅をシルバーピアに変更することも考えていない。

問 台東区でNPOの訪問看護ステーションが運営する空き家を活用した支援付きアパートなどを視察してきた。新宿区も空き家を有効活用して高齢者の住まいを確保する対策を早期に打ち出すべき。

答 新宿区は不動産価格が高く流動性も高いという特性があり、これを踏まえた利活用を検討する。高齢者の住宅確保についても、所有者と民間高齢者福祉事業者をつなぐ情報提供など効果的な方策を検討する。

問 た経過を把握しているか？

答 環状4号線は、昭和21年に決定されたものを基本とし、昭和39年に道路網の全体的な再検討を行う中で夏目坂通りに迂回する都市計画変更が決定された。

問 都は拡幅の理由として安全性や防災力の向上を挙げるが、説明会では「交通量は減っている。必要ない。」等、拡幅でコミュニティが壊れる。」等の意見が続出した。来年度からの事業化計画で「優先整備路線」としないよう都に意見すべき。

答 早急に整備されるべき路線と認識している。「優先整備路線」から外すよう申し入れることは考えていない。未着手の都市計画道路の見直しを都区で検討しており、今後、都市計画道路整備方針策定に向けてパブリックコメントを実施する。

区民の声を反映する区政をめざして、
日本共産党新宿区議団はがんばります！

●ホームページ <http://www.jcp-shinjuku.com>
各区議のホームページやEメールも
区議団のホームページのリンクからご覧になれます。



ホームページのQRコード